

府中市健康地域づくり審議会  
第9回次世代創造分科会 報告書

- 1 日 時：平成26年11月28日（金）13：30～15：00
- 2 場 所：府中市役所2階第1応接室
- 3 出席者：谷 秀 樹（分科会会長） 板 橋 千代美（分科会副会長）  
吉 原 純（分科会委員） 水 主 川 緑（分科会委員）  
坂 永 弥 生（分科会委員） 出 原 慎 之（分科会委員）  
河 村 久美子（府中市子育て支援センター）  
古 川 教 子（府中市立上下保育所）

#### 4 概 要

- (1) 開 会
- (2) 分科会長あいさつ
- (3) 議 事
  - ①議題 新制度に向けた条例の整備について
  - ②議題 「府中市子ども・子育て支援事業計画」策定について
  - ③議題 施策の進捗状況について

#### 【主な質疑・意見】

委員：放課後児童クラブの単発的な利用（夏休み・春休みだけの利用等）はできないのか。

事務局：登録制となっており、1年間通して利用することとなっている。

事務局：年度中途からの申請は可能である。ただし、年度中途から短期間だけの利用は現在認めていない。今後子育て支援に向けて協議が必要なところが出てくると考える。

委員：新年度新たに設置する場合には新基準に沿ったものということだが、新たにできる施設があるのか。

事務局：現在のところはない。現行の放課後児童クラブのみである。

委員：現状はどのような状況か。各小学校にあるのか。1～3年までで満員の状態なのか。

事務局：現在は各小学校に設置され、常に定員がいっぱいクラブもあれば、定員に余裕があるところもある。定員に余裕があるところではこの新基準で実施可能だが、定員がいっぱいのところについては、この基準では対応できないので経過措置を設けている。

委員：認可外保育施設について、小規模保育園等に設定する計画はあるか。このまま認可外のままなのか。

事務局：この認可外保育施設というのは、主には事業所内保育施設のことである。小規模保育（地域型保育事業）については事業所内保育等を含めて定員を設定している。全く想定していないということではない。

委員：他市の話では小規模保育園への移行をお願いする場合があるようであるが。

事務局：県が意向調査をした際にそうした意向が無いと聞いている。府中市としては、小規模保育園（地域型保育事業）への移行というはたらきかけはしない。この認可外保育のほとんどは、事業所内保育事業なので、そこについては事業所の考え方が大きいと考える。今後まとめないということではないが、現時点ではこの5年間の計画の中に盛り込んではいない。

委員：リスク管理という立場からどう考えられているのか。

事務局：認可外保育施設については、市が毎年指導監査をしており、適正な保育をされていると認識している。「地域型」は地域の方を受け入れていただくことになるので、そこは各事業所の考えが強いと感じる。今後市全体として考えたときにはそういった話も出る可能性はある。その際には柔軟に対応し、協議もしていきたい。

委員：今までの分科会の中で、「女性」への支援も大切だが、「男性」という言葉が全然出てこないという話をしてきた。「働きながら子育て…」という部分では、男性も出てこないといけないと感じる。子育てについても一緒に考えていける人が育つといいと感じたので、男性についてのことも入れたい。

委員：私も男性にもっと育ってもらいたいと思う。女性側は子どもが欲しいと思っていても、男性側がまだ大丈夫という考えをもっていて女性側が焦っているという話を聞いたことがある。一緒に勉強するというのが大切なのではないかと常々感じている

事務局：今年度の機構改革で「女性応援係」ができ、基本的には女性を応援することで底上げをするという取り組みだが、今のところ男性については協力的な立場でしか施策を取り上げていない。今のご意見を元に項目を増やすことはできるがどういった形で盛り込むことができるかは事務局で再考してみたい。先日の女子 Café の中でも、今度は男性講座を3回持つなどの意見が出たので、今日の意見は大変貴重でありがたい。

委員：男性女性「別々に」というより「一緒に」というのがいい。

委員：今回の女子 Café は独身者だけでなく、既婚者も参加でき、また年齢制限もなかったのが参加しやすかった。年齢も男女もミックスされたのもいいと思う。

事務局：来年度に向けて検討していきたい。

委員：学ぶ場で男女が出会うのはとても魅力的なことだと思う。

委員：「安全な遊び場の確保」公園の整備のところで、「監視カメラの設置」を入れていただきたい。子どもを安心して遊ばせることができる環境になるのではない

か。遊具の点検というのは当たり前だが、加えて監視カメラがあるかないかで抑止力にもなると思う。

事務局：市の内部の協議ということになる。そういった話をしていきたい。

委員：50ページに固有名詞が出ているがいいのか。

事務局：「関係機関」という書き方もあるかもしれない。他に入っていない機関もあるかもしれないので、確認をする。

委員：「子どものメディア対策」というのを入れてはどうか。小児科学会でも取り上げられている。

委員：大きい分類のひとつとして挙げてもいいかもしれない。子どもの心だけでなく、子育て世代にも若者にも関係してくるのではないか。

委員：この素案は今後どうするのか。

事務局：今日の意見をもとに、文言や事業の実施年度等、再検討したものを1月にパブリックコメントを予定している。

委員：19ページの「第3章 計画の基本理念」の文章について読みとり方を教えていただきたい。

「子どもたちの育ちにとって大切なことはなんでしょうか」とあるのだから、20ページの施策を網羅したい文章だったと思うが、それにしても少しわかりづらいと感じた。もっとみんなにわかりやすい文章にしておかなくては視点がずれてくるのではないかと思う。

事務局：具体的にはどこがわかりづらいのか。

委員：2段落目の最初の「一方で」と出てくるのがよくわからない。また、3段落目の「祖父母や身近な地域が」の「地域」の具体的なものがあってもいい気がする。

事務局：行政が作る文章としては根拠に欠けるような文章であるとの指摘と受け止める。対象がこれでいいのか、本当にこの1点だけが不安なのでこういう現象になっているのかという指摘と受け止めるので、現状の分析や社会情勢を正確に表した文章に検討し直してもいいのかとも思う。このあと、キャッチフレーズについて協議していただくことになるが、内容的にもキャッチフレーズに合ったものでないといけないと思うので、キャッチフレーズについて協議していただき、再度検討させていただければと思う。

事務局：今言われた「地域」というのは、「地域」が具体的でないというご意見だったが、この間分科会の中で「地域全体で支える子育て」というテーマがありそういう意味合いで「地域」という言葉を使っているが、それが一般的にわかりにくいということであれば、文章にするとき具体的にする等はできる。地域全体で支えるのがずっと議論の中であったことなので、そういった意味で「地域全体」ではあるが、それが誰かと言われると難しい。

委員：意味はわかるのだが、一般的に見たときにこれではわかりにくい。

委員：「一方で」というのを「しかしながら」にするとつながるか。

委員：「一方で」の段落が、これだけがその理由ではなく、それもそのひとつの理由という感じか。

委員：実際にはもっといろんなことが加味されていて、私たちの中に感じていることはあるが、それを文章にするのは非常に難しい。

委員：パブリックコメントはどのようなかたちでされるのか。

事務局：ホームページにて行う。

委員：お母さん向けに発信するのか、市民全体に発信するのかで言葉の表現が変わってくると思う。

委員：わかりやすい方がいいのか、伝えたいことを入れておかないといけないのか。

委員：わかりやすい方がいいと思う。

事務局：いろいろアイデアを出していただき、先ほどわかりやすい方がいいというお話もあった。事務局で再考させていただき、その中から2つくらいに案を絞って、また会長さんと協議の後さらに1つに絞ったものを皆さんに提示させていただくという形ではいかがか。

委員：今後は女性だけでなく、男性も一緒に参加できるようなものを企画していただきたい。

委員：「女子 Café」は何名の参加があったのか。

事務局：第1回は17名であった。3回連続では参加がなかなか難しい状況があったので、1回のみ参加も受けさせていただいた。

事務局：第2回は27名。こういった話を初めて聞いたという声もいただいた。第3回はもう少し少ない人数の予定。

委員：ハローワークの求人情報オンラインシステムについて、フィードバックはあったか。

事務局：現在のところ2人の利用があったが、その方について就労につながったかどうかまでは確認できていない。

#### (4) 事務連絡

#### (5) 閉会 分科会副会長あいさつ